

情報科学科総合型選抜 Q&A

津田塾大学
学芸学部情報科学科

Q: 総合型選抜はどのような試験でしょうか？

A: 研究テーマに自分なりに取り組み、研究し、その結果をプレゼンテーションする入試です。研究テーマに自分なりに取り組み、研究した結果を作品にまとめ、面接試験でプレゼンテーションしてください。プレゼンテーションの後、質疑応答をします。

Q: どのような点が評価されるのでしょうか？

A: 最終的な結果よりも、そこに到達するまでの過程を重視します。

どのように考え、どのような方法を使い、どのような態度、姿勢、意欲でテーマに挑戦したかを評価します。そうして取り組んだ結果を他の人に効果的に伝えられるかどうかも評価の対象です。さらに、過去に行ってきたさまざまな活動や成果も評価します。

Q: 学校推薦型選抜（公募制）とは、どこが違うのですか？

A: 学校推薦型選抜（公募制）は、問題を解いて正解を求め、それに関する質疑応答を行う試験です。一方、総合型選抜は、テーマに挑戦し、その結果をプレゼンテーションするという試験です。

総合型選抜の課題となるテーマのなかには、そもそも「正解」がないものもあるかもしれません。じっくり、自分なりの方法でテーマに挑戦してください。自分で考えるのはもちろんですが、学校の先生に聞いてもいいですし、インターネットで調べてもよいでしょう。

そしてその結果を自分なりに工夫してプレゼンテーションしてください。

Q: 情報科学科には、なぜ、いろいろな入試があるのですか？

A: さまざまな個性をもった学生に集まってほしいからです。

徹底した少人数教育を实践する本学科は、違うタイプの学生がお互いに刺激し合える学びの場をめざしています。

以 上